

2 平成21年度の進捗状況

(1) 基本目標 1 未来に手渡す すばらしい地球を守るまちづくり（地球温暖化防止の推進）

I - 1	個別目標	家庭における省エネルギーの推進（担当：商工労働観光課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	進捗 状況	数値目標 担当課
	家庭版EMS「掛川市民環境愛そう（ISO）」延べ参加家庭数を1,444世帯まで増加させる。		平成21年度末 835世帯	A	環境政策課
	平成17年度 444世帯	平成27年度 1,444世帯			
番号	事業名	目的	21年度実績	進捗 状況	課名
1	家庭版環境愛そう事業	地球温暖化防止を市民レベルで進めるため、掛川市、静岡県及び静岡県地球温暖化防止活動推進センターが協働で、各家庭での省エネ活動実践を支援するプログラムを行う。	家庭生活における、省エネ省資源の生活実践推進活動を実施した。 参加登録家庭数 57家庭 二酸化炭素削減量 2,565kg-CO2 (ペットボトル2L 68.5万本分)	A	環境政策課
2	環境愛そう(ISO)キッズ	日常生活における環境保全に配慮した行動を保護者・家庭内に広げることを目的に、年間4回「環境家族会議」を開き、電気使用量、待機電力機器、ごみ箱、エコマークの調査を小学生5年生対象に実施。	全4回の環境家族会議を計画通り実施した。実施方法や内容の見直しを行った結果、全4回の会議に参加した家庭数は対象1,101世帯中522世帯で、昨年度の実績338世帯を大幅に上回った。 4回全て参加した児童522人には「環境を考える市民の集い」で参加証を授与した。	A	環境政策課
3	くらしの環境ウォッチング	日常生活における環境保全に配慮した行動を進め、それを保護者・家庭内にまで広げるきっかけとすることを目的とし、教育委員会と協力し、市内小学4年生を対象に実施。	市内23校の小学校4年生、1,100人を対象に実施。 生活の中でごみ分別、省エネに関する取り組みを実践し、自己チェックを3週間行った。	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

I-2	個別目標	交通・移動における省エネルギーの推進（担当：都市政策課・管財課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	市が保有する公用車の低燃費車両、ハイブリッド車の割合を向上させる。		平成21年度 42.5%	A	管財課
	平成17年度 22.8%	平成27年度 75.0%			
番号	事業名	目的	21年度実績	進捗 状況	課名
1	環境基本計画の周知と運用	環境に関する市の施策を掲げた行政計画であると同時に、目標達成のための市民、事業者等に望まれる取組について明示した行動計画であるため、広く周知して環境配慮活動の推進を図る。	ホームページに引き続き内容を掲載中。 21年度は、環境基本計画の進行管理の見直し等に着手した。 ※平成18年度に計画の概要版（市民向け・事業所向け）を作成し、全戸配布済み	A	環境政策課
2	環境ISO推進事業	市役所の事務事業や発注業務を環境保全の視点から評価し、環境への影響を極力減らすとともに、環境に有益な事業を推進するため、EMSであるISO14001を運用管理する。 ・システム運用と維持管理 ・職員教育の実施 ・認証の更新審査（3年に一度）	サイト内のシステムは、現状を大きく変えず熟成度の向上を図った。結果として電気（3%）とガス（3.5%）は増加となり、紙（6%）、上水（8%）、ごみ（9.2%）はそれぞれ削減ができた。 サイト外においてもサイト内職場と同様に紙・ごみ・電気の削減についてPDCAのシステムを導入し、計画的に管理を行っている。	B	環境政策課
3	「掛川市地球温暖化対策地域推進計画」の推進	掛川市域の温室効果ガス発生抑制のため、自然的社会的条件を加味した「地球温暖化防止地域推進計画」を策定し、推進することにより市域からの温室効果ガス排出量の削減を目指す。	計画中の7つのリーディングプロジェクトを中心に各事業を実施、検討中。 ○かけがわエコすくーる認証 1校 ○STOP温暖化パートナーシップ協定 6社 ○かけがわ事業所EMSモデル認証 1社 ○ごみ減量大作戦 など	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

I-3	個別目標	企業・森林での地球温暖化防止（担当：商工労働観光課・農林課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	木材蓄積量を年間20,000m ³ 増加させる。		平成21年度の増加量は236,793m ³ で、 累計が2,384,489m ³ となった。	A	農林課
	年間	20,000m ³			
番号	事業名	目的	21年度実績	進捗 状況	課名
1	市民力による環境ISO推進支援事業	ISOやEA21等の取得・運用についてアドバイス等を行える市民を募集し、希望事業所へ市が仲介することで、環境マネジメントシステム取得・運用の支援を行う。	ISOボランティア事業として、事業所のEA21取得支援を中心として、市役所や環境資源ギャラリーのEMS維持管理にも従事してもらった。 掛川市役所のEMS推進について、推進員・実行責任者に対する研修会を2回実施した。	A	環境政策課
2	エコアクション21認証一斉取得支援	ISO14001と比較し人的・物的コストが安く、取り組む内容が平易なEA21について、認証取得希望事業所に対して無償コンサルティングすることで、認証の取得を支援する。	菊川市との協働によりEA21取得支援講座を開催し、19社が参加した（うち掛川市9社）。 22年末時点で、3社が認証取得済み、6社は運用を継続中である。	A	環境政策課
3	地球温暖化防止実行計画（スマート・オフィス・プラン）	市の事務及び事業に伴い排出される温室効果ガスを抑制するため、市が管理する全ての施設において、削減のための行動実践計画の進行管理を行う。	市のEMS管理と平行し管理している。 サイト内外の職員が、毎月「省エネ省資源チェックシート」を使い自己チェックにより管理している。 国の温室効果ガス削減目標の見直しに合わせ、22年度中に計画の改訂を行う。	A	環境政策課
4	新エネルギー導入研究事業	19年2月に策定した、掛川市地域新エネルギービジョンをもとに、新エネルギーを積極的に推進することを目的とし、市内における新エネルギー導入の研究や市民、事業者、環境団体に対して新エネルギーの情報提供を行う。	新エネルギーについての相談窓口の設置。自治会での新エネルギー学習会の実施。	A	環境政策課
5	ISO14001・EA21認証取得事業所連絡会	ISO14001・EA21を取得している市内事業所の連絡会を設置し、地球温暖化防止をはじめ環境全般に関する情報交換の場とし、市内の環境配慮活動の推進と啓発を目的とする。	10月に第1回全体会を開催し、各社で運用しているEMSなどに関する意見・情報交換を会員相互に行った。	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

番号	事業名	目的	21年度実績	進捗状況	課名
6	造林事業補助金、流域公益保全林等整備事業、森林整備地域活動支援事業、流域循環資源林整備事業、しずおか林業再生プロジェクト推進事業、市民の森管理事業	・枝打ち、間伐、除伐等の森林整備に対する支援 ・市有林を展示林化し、行政と市民が一体となり森林を保全し、自然とのふれあいの場を確保する。	枝打ち、間伐等213.1haの森林整備に対し支援。 市有林の枝打ち及び下刈り等の森林整備を1.92ha実施。	A	農林課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

I-4	個別目標	新エネルギー利用の推進＜太陽光、太陽熱、風力＞（担当：商工労働観光課・管財課・環境政策課）			
数値目標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標担当課
	住宅用太陽光発電施設設置件数（中部電力（株）契約数）を100件／年増加させる。		総設置件数 1,101件 総契約発電量 4,034件	A	環境政策課
	平成16年度 334件	平成27年度 1,334件	年間設置件数 169件 年間設置発電kW 693kw		
番号	事業名	目的	21年度実績	進捗状況	課名
1	新エネルギーフォーラム	エネルギー面から自然環境を見直して、地球温暖化の抑制など地球環境を考える機会として新エネルギーや省エネルギーの普及・啓発を図るため、および環境保全委員等の研修会として講演会を開催する。	従来の新エネルギーフォーラムを「地球温暖化シンポジウム」して実施。 ○第1回 4/28 「将来にわたる人類の課題としてのエネルギー問題」「太陽光発電とは？なぜ今なのか？」 ○第2回 11/10 「持続可能性と日本の将来」「積小為大ーポスト石油社会に向けて」	A	環境政策課
2	エコロジーアクション桜が丘の会（環境学習委託）	NPO法人エコロジーアクション桜が丘の会と住民と市が協働して、桜が丘中学校区内において環境学習を推進して地域環境力を高め、環境に配慮したまちづくりを行う。	地域イベントにおける、環境ブースの出展や小中学校の授業における環境学習の実施、環境講演会の実施など地域環境力の向上につながる事業が実施できた。 実施例：児童生徒による環境作品展、地域文化祭との合同環境イベント、中学校での環境授業	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

I-5	個別目標	新エネルギー利用の推進＜バイオマス・その他＞（担当：農林課・管財課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	新エネルギー（バイオマスその他）に関する学習会を年1回以上開催する。		地球温暖化シンポジウム(4月28日、11月10日) 環境を考える市民の集い(3月6日) 曾我地区環境保全委員研修会 など	A	環境政策課
番号	事業名	目的	21年度実績	進捗 状況	課 名
1	菜の花プロジェクト	菜の花などの地域資源を活用し、地球温暖化の防止、新エネルギーの普及、農業の再生等を行う。県内の菜の花資源循環システム実践者及び関係団体の連携強化と情報交換を行う。市窓口は、農林課と環境政策課。	農事組合法人「大東農産」による菜の花栽培にあわせて、菜の花資源循環プログラムが進められている。この一環として、4月19日に菜の花コンサートを大東農産、小中学生、地域住民が参加し開催された。	A	農林課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

(2) 基本目標 2 資源の有効活用で持続可能なまちづくり

Ⅱ-1	個別目標	ごみ発生量の抑制（担当：管財課・商工労働観光課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	一人一日あたりのごみの排出量を減少させる。		平成21年度 651g	A	環境政策課
	平成16年度 742 g	平成27年度 682 g			
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	マイバッグ運動	マイバッグ持参率調査の実施。消費者協会等との連携によるマイバッグキャンペーンの実施。	持参率調査は、消費者協会・市で2回実施。スーパー17店舗、生活雑貨1店舗 持参率は95.7% ドラッグストアでのマイバッグ運動推進の啓発を継続中。	A	環境政策課
2	生ごみ堆肥化推進事業	生ごみ処理容器講習会の開催と堆肥化資材を配付する。（山土、杉チップ、籾殻等）	生ごみ処理容器講習会の開催と堆肥化資材を配付する。H21実績 講習会年4回実施。	A	環境政策課
3	生ごみ処理機等購入費補助金	生ごみ処理機又は処理容器を購入した方に対し、購入費用の1/2（補助限度額20,000円）を補助する。	生ごみ処理機又は処理容器を購入した方に対し、購入費用の1/2（補助限度額20,000円）を補助する。 電気式 104基 非電気式 17基	A	環境政策課
4	剪定枝等地区回収事業	家庭から排出される剪定枝等を地区単位で回収し、木くずの処理業者において再資源化処理を行う。	家庭から排出される剪定枝等を地区単位で回収し、木くずの処理業者において再資源化処理を行う。 H21実績 処理量1,200,810kg	A	環境政策課
5	剪定枝等処理事業費補助金	家庭から排出される剪定枝等の処理を行う木くずの処理業者に対し、市の処理手数料を超える処理費分を補助する。	家庭から排出される剪定枝等の処理を行う木くずの処理業者に対し、市の処理手数料を超える処理費分を補助する。 H21実績 搬入量759,788kg	A	環境政策課

6	一般廃棄物処理業の許可	廃棄物処理法第7条の第1項又は第6項に基づき、一般廃棄物収集運搬業又は処分業の許可を行う。	廃棄物処理法第7条の第1項又は第6項に基づき一般廃棄物収集運搬業又は処分業の許可を行う。 H21実績 掛川市全域31件 (収集・運搬10件、中間処理6件、し尿2件)	A	環境政策課
7	ごみ収集運搬事業	家庭から排出される燃えるごみ、燃えないごみの収集運搬を実施する。	家庭から排出される燃えるごみ、燃えないごみの収集運搬を実施する。 H21実績 掛川区域7台、大東・大須賀区域3台	A	環境政策課
8	ごみ集積所設置等補助金	ごみ集積所の設置又は修繕を行う自治会に対し、対象経費の2/3（補助限度額180,000円）を補助する。	ごみ集積所の設置又は修繕を行う自治会に対し、対象経費の2/3（補助限度額180,000円）を補助する。 H21実績 新設19基、修繕54基	A	環境政策課
9	最終処分場の管理運営	板沢、新井、高瀬、東大谷最終処分場の管理運営を行う。	板沢、新井、高瀬、東大谷最終処分場の管理運営を行う。 H21実績 板沢搬入量3,500t 新井搬入量40t 高瀬搬入量169t 東大谷搬入量56t	A	環境政策課
10	ごみ減量とリサイクル先進モデル事業所	ごみ減量とリサイクルを積極的に行っている事業所をモデル事業所として登録する。モデル事業所連絡会を開催する。	ごみ減量とリサイクルを積極的に行っている事業所をモデル事業所として登録する。モデル事業所連絡会を開催する。H21実績登録数0社（計18社）、連絡会2回実施。	B	環境政策課
11	クリーン推進員	各自治区にクリーン推進員を設置し、排出マナーの向上を図る。	各自治区にクリーン推進員を設置し、排出マナーの向上を図るための研修会、視察研修を実施した。 H21実績 委嘱者数644人 研修会（6/8：生涯学習センター約500人参加※一般市民を含む）視察研修（7/8・9・15・23：富士市 156人参加）	A	環境政策課
12	ごみ分別ポスター、マニュアル、カレンダー作成	適正なごみ出しの徹底を図るため、マニュアル等を作成し全戸配付する。	適正なごみ出しの徹底を図るため、マニュアル等を作成し全戸配付する。H21発注 掛川区域（カレンダー35,000部）、大東・大須賀区域（カレンダー12,000部）、外国語版（ポルトガル語、英語、スペイン語、中国語、韓国語、タガログ語）	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅱ－２	個別目標	リサイクルと省資源の推進（担当：管財課・商工労働観光課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	ごみのリサイクル率（資源物回収＋集団回収／ごみ総量）を36%にする。		平成21年度 34.8%	A	環境政策課
	平成16年度 28.3%	平成27年度 36.0%			
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	剪定枝等地区回収事業	2－1再掲 家庭から排出される剪定枝等を地区単位で回収し、木くずの処理業者において再資源化処理を行う。	家庭から排出される剪定枝等を地区単位で回収し、木くずの処理業者において再資源化処理を行う。 H21実績 処理量1,200,810kg	A	環境政策課
2	剪定枝等処理事業費補助金	2－1再掲 家庭から排出される剪定枝等の処理を行う木くずの処理業者に対し、市の処理手数料を超える処理費分を補助する。	家庭から排出される剪定枝等の処理を行う木くずの処理業者に対し、市の処理手数料を超える処理費分を補助する。 H21実績 搬入量759,788kg	A	環境政策課
3	資源化物回収活動奨励金	古紙の集団回収活動団体に対し、1kgにつき4円の奨励金を交付する。	古紙の集団回収活動団体に対し、1kgにつき4円の奨励金を交付する。 登録団体数191団体。	A	環境政策課
4	生ごみ堆肥化推進事業	2－1再掲 生ごみ処理容器講習会の開催と堆肥化資材を配付する。	生ごみ処理容器講習会の開催と堆肥化資材を配付する。H21実績 講習会年4回実施。	A	環境政策課
5	生ごみ処理機等購入費補助金	2－1再掲 生ごみ処理機又は処理容器を購入した方に対し、購入費用の1／2（補助限度額20,000円）を補助する。	生ごみ処理機又は処理容器を購入した方に対し、購入費用の1／2（補助限度額20,000円）を補助する。 電気式 116基 非電気式 19基	A	環境政策課

6	資源物収集運搬及び処理事業	H21予定（掛川区域） プラスチック、白色トレイ（週1回）、かん、びん、ペットボトル、食用油、古紙、乾電池、蛍光管（月1回） H21予定（大東・大須賀区域） プラスチック、白色トレイ（週1回）、かん、びん、ペットボトル、食用油、古紙、古布、金属類、乾電池、蛍光管（月1回）	H21実績（掛川区域） プラスチック、白色トレイ（週1回）、かん、びん、ペットボトル、食用油、古紙、乾電池、蛍光管（月1回）の収集を行った。 H21実績（大東・大須賀区域） プラスチック、白色トレイ（週1回）、かん、びん、ペットボトル、食用油、古紙、古布、金属類、乾電池、蛍光管（月1回）の収集を行った。	A	環境政策課
7	分別収集奨励金	かん、びんを分別排出する自治区に対し、アルミ缶15円/kg、スチール缶、びん3円/kgの奨励金を交付する。	かん、びんを分別排出する自治区に対し、アルミ缶15円/kg、スチール缶、びん3円/kgの奨励金を交付する。 H21交付対象207自治会。	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅱ－3	個別目標	環境に負荷をかけない農業の推進（担当：農林課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	①10aあたり窒素成分施肥量（茶）を40kgまで減らす。		平成21年度末54kg （地域特性を考慮している）	A	農林課
	平成16年度 54kg	平成27年度 40kg			
	②専業農家内のエコファーマー認証取得割合を40%にする。		茶、ニンジンの経営体で新たな認証がされ、専業農家に占める割合は経営体202戸（36%）となった。	A	農林課
	平成17年度 30%	平成27年度 40%			
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	掛川いきいき食の会 （環境基本計画実践活動補助金）	食品の様々な問題（遺伝子組み換え食品、O-157、狂牛病etc）や「食」や地元業者の生産する「安全な食生活」を追求するために、研修・啓発活動を行う団体に活動支援を行う。	研修事業を通じて食の安全に関する知識向上を行った。 プランター野菜づくり教室、地場産の食材を使った料理教室などを通じて市民への啓発も行った。 掛川市マイバッグ運動への協力を行った。	A	環境政策課

2	エコロジーライフ研究会 (環境基本計画実践活動 補助金)	自然と共生する農林水産業及び「食」と「暮らし」の実践を通して、安心安全な生活と環境保全を推進する新しいライフスタイル構築と豊かな地域社会づくりを目的として活動している団体に活動支援を行う。	講習会、見学会、体験学習会を開催した。 有機栽培技術の安定工場研究、生ごみ処理利用法の検討、料理講習会の開催などを実施した。	A	環境政策課
3	施設園芸用廃ビニール処理費補助金	環境汚染の原因となる施設園芸用廃ビニールを、適正に処理した、市内農協に対して支援を行う。(農ビニール・ポリ、農業資材、農薬空瓶、肥料空袋ビニール、肥料空袋紙が対象)	掛川市農協・遠州夢咲農協に対し、廃ビニール処理費用について支援を行い、廃ビニールの適正処理に寄与した。	A	農林課
4	畜産公害対策事業補助金	家畜ふん尿に起因する畜産公害を未然に防ぐことを目的とし、畜産公害対策事業を行う畜産農家に対して支援を行う。(機械・施設、薬剤・消臭剤)	機械、薬剤等に係る経費の一部を補助し、畜産経営の安定が図られた。	A	農林課
5	遠州南部とうもんの里総合案内所管理運営委託料	遠州南部とうもんの里総合案内所を拠点として、農業の多面的機能を継承していくため、地域を訪れる方々及び地域住民に対して、地域で営まれる農業や農村文化や、田園風景、歴史、自然についての情報発信、体験交流に関する事業を行い、住む人が誇りを持ち、来る人との心豊かなふれあいを創造する。 なお、指定管理者制度により、NPO法人とうもんの会が施設管理及び運営を行う。 具体的な事業としては、季節ごとの農業体験・食加工体験、歴史・自然観察体験、各種講座の開催、朝採り昼市での農産物の販売等を実施。	農業体験・・・さつまいも掘り・田植え・ 稲刈り・茶摘み実施 食加工体験・・・豆腐作り等5回実施 自然観察・・・野鳥観察、田んぼの生き物調査等8回開催	A	農林課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅱ－４	個別目標	水循環の確保（担当：管財課・農林課・道路河川課・下水整備課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	市道における雨水浸透性舗装率を向上させる。		0.106%（1.3214Km/1,250Km）	B	道路河川課
	平成16年度 0 % （0km／1,250km）	平成27年度 0.12%（1.5km／1,250km）			
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	雨水貯留タンク設置	学校や幼稚園など公共施設に雨水貯水タンクを設置し、雨水の有効利用を図るとともに、環境教育推進を図る。市民、事業者、行政が協働で設置することにより地域環境力を高める。	企業、団体、市が協力して廃棄物を活用した雨水貯留タンクを市内の公共施設等へ設置した。	B	環境政策課
2	造林事業補助金、流域公益保全林等整備事業、森林整備地域活動支援事業、流域循環資源林整備事業、しずおか林業再生プロジェクト推進事業、市民の森管理事業	・水源かん養機能が持続、発揮できるような森林整備を進める（１－３再掲）	枝打ち、間伐等213.1haの森林整備に対し支援。 市有林の枝打ち及び下刈り等の森林整備を1.92ha実施。	A	農林課
3	浸透性舗装事業	雨水を積極的に地中に浸透させることにより、下水や河川への流入防止や植生・地中生態の改善、地下水の涵養等	実績なし	B	道路河川課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

(3) 基本目標 3 次代に残す豊かな自然を守り育てるまちづくり

Ⅲ－1	個別目標	生物多様性の保全（担当：道路河川課・農林課・都市整備課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	①市民参加による自然環境調査・自然学習会を1回／年開催する。 ②希少な動物生息域数の現状を維持する。		①自然環境調査(タンポポの分布)を実施し、 自然学習会を1回開催した。 ②東山・板沢地区保護地区(平成19年度 指定)の保全活動の実施 希少な動植物の保護(19年度に動植物15 種類の指定)	A	環境政策課
	平成16年度 ホトケドジョウ 4箇所、メダカ15箇所、オオタカ 4箇所、 サシバ 9箇所				
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	自然環境調査事業	自然環境を継続して調査し掛川市の自然環境 の現状と今後の変化を把握するため行う。専 門家による調査に加え、市民ボランティアを 募り市民の意識の高揚を図ることも目的とし ている。	タンポポの分布調査（ボランティア及び 専門家調査）及び調査報告会を兼ねた学習 会を実施した。	A	環境政策課
2	海岸砂防・保育事業、野 生鳥獣保護事業	・市民との協働により海岸部の自然環境の 保全、再生に努める。 ・野生鳥獣とその生息・生息地の保護を図 る。	掛川市海岸防災林保護組合により、堆砂垣 L=1, 320m設置	B	農林課 道路河川課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅲ－２	個別目標	海岸部の保全（担当：道路河川課・農林課・都市整備課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	45haある保全松林（防災林）の減少を25%以内にとどめる。		県有林の薬剤散布面積40ha	B	農林課
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	海岸清掃事業	平成19年6月24日実施予定 参加者 約5,000人予定（関係自治会・地元企業・菊川市等）	平成21年6月21日実施 参加者 約3,000人（関係自治会・地元企業・菊川市等）	A	道路河川課
2	遠州灘沿岸保全対策促進 期成同盟会	同盟会への負担金支出（18年2月に設立・湖西市から御前崎市までの沿岸市町で組織した同盟会であり、国、県に強く海岸保全の要望を行っていくことを主な事業としている。）	①年2回の幹事会の開催 ②総会の開催 ③関係機関（県・国交省）への要望活動 ④講演会及び交流会の開催 ⑤情報誌の発行	A	道路河川課
3	大浜海岸保全対策協議会	海岸保全等について、関係団体と協議をし推進を図っていく。	①協議会の開催	A	道路河川課
4	松くい虫防除事業、海岸 砂防・保育事業	・松枯れを防ぐため防除事業を実施し、荒廃した林に植栽を行ない機能維持に努める。 ・飛砂対策事業により砂丘の保全を図る。	・薬剤散布（民有林41.73ha、 県有林32.24ha） ・伐倒駆除 132.59m ³	A	農林課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅲ－３	個別目標	森林の保全と活用（担当：農林課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	森林施業計画認定面積を年間50ha増加させる。		平成21年度に42.49haの認定をし、累計で684.57haとなった。	B	農林課
	年間増加量 50ha				
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	水土保全林等対策事業、 林業振興事業、市民の森 管理事業、林道整備事 業、治山事業、森林空間 活用事業	・水土保全林の保全と活用を図る。 ・森林と人との共生林の保全と活用を図る。 ・資源循環利用林の保全と活用を図る。 ・森林に関する学習と実行を図る。	・県営林道、市単林道、市単治山事業を 実施 ・森林と人との触れ合う場の提供として、 明ヶ島キャンプ場及びならここの里の施 設を充実。 ・森林・緑化に対する意識向上のため植樹 祭を実施。	A	農林課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅲ－４	個別目標	里地里山の保全と河川の整備（担当：道路河川課・農林課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	①市管理河川総延長の内、多自然型河川整備を行った区間の割合を増加させる。		2.42%(9.678Km/400Km)	B	道路河川課
	平成16年度 2.25%（9km/400km）	平成22年度 3%（12km/400km）			
	②認定農家への農地集積面積を増加させる。		平成21年度に123haを認定農業者へ集積し、累計で1,427haとなった。	A	農林課
	平成17年度 1,160ha (H18.1現在)	平成27年度 1,210ha			
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	有害獣被害防止対策事業 事業補助金	有害獣（イノシシ等）による農作物や農地への被害防止のための設備を設置する農家に対して支援を行う。	62件の申請を受け、電気柵等の被害防止対策を講じた農家へ補助金を交付した。	A	農林課
2	川・池・魚を愛する事業 補助金	川や池の美化及び愛護活動、魚の放流等、水環境及び水産資源を守り育てる事業に対して支援を行う。	川・池の美化、水産資源の愛護及び魚の放流事業に対し支援を行った。	A	農林課
3	中山間地域等直接支払事業	耕作条件が不利な中山間地に対し、交付金を交付し、営農継続と、農村と農地の適正な管理を支援し、農業・農村の持つ多面的機能の維持、増進を図る。	交付対象面積165ha	A	農林課
4	農業用河川工作物応急対策事業負担金	原野谷川の頭首工（正道）に魚道を設置する H21～22年度整備	頭首工実施設計 一式（事業費10,500千円）	A	農林課
5	河川愛護事業	河川堤防等の草刈りを実施した愛護団体に対して支援を行う。 （謝礼、草刈機借上料）	河川堤防の草刈りを157団体により239.8ha実施	A	道路河川課
6	有害鳥獣駆除事業	野生動物による農作物被害の防止を図る。	有害鳥獣捕獲許可件数 20件	—	農林課
7	都市景観啓発事業	都市景観写真の募集と景観講座の開催	地元NPOと協働で延べ3回の市民講座を開催	A	都市整備課
8	逆川左岸への彼岸花の植栽事業	緑の精神回廊事業の一環として、逆川左岸（十九首、十王、西町、鳥居町）への彼岸花の植栽を行う。	十九首、鳥居町との協働で彼岸花2,000球を植栽	A	都市整備課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅲ－５	個別目標	自然とふれあう空間の創造（都市整備課・農林課・道路河川課・社会教育課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	一人当たりの公園の整備面積（都市公園面積／人口）を広げる。		13.99㎡／人（169.09ha／120,905人）	A	都市整備課
	平成16年度 13.67㎡／人 (163.7ha／119,739人)	平成22年度 14.68㎡／人 (168.8ha／115,000人)			
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	22世紀の丘公園建設事業	22世紀の丘公園建設事業（～平成21年度）	整備完了（3／29完成）	A	都市整備課
2	緑地協定の締結	開発行為、土地利用による緑地協定の締結による緑化の推進。 締結件数5件	開発行為、土地利用による緑地協定の締結による緑化の推進を図った。 締結件数6件	A	都市整備課
3	生け垣設置補助事業	生け垣を設置する者に対し、設置費用の一部を補助し、市民が健康で快適な生活できるよう環境づくりの推進をする。 目標件数 毎年40件	生け垣を設置する者に対し、設置費用の一部を補助し、緑化の推進を図った。 生け垣設置費補助の延長 55,400m	A	都市整備課
4	保存樹木保存樹林の指定	保存樹木・保存樹林の指定をし、自然環境の重要性と必要性を考える。	保存樹木・保存樹林の指定をし、緑の保全及び緑化推進活動の意識を啓蒙した。 指定本数 80本 樹林 14箇所	A	都市整備課
5	グリーンキャンペーン開催費	市民の緑化意識の高揚を図ると共に市と市民が一体となり花と緑の環境づくりをする 参加人数20,000人 目標人数20,000人	市民の緑化意識の高揚を図ると共に市と市民が一体となり花と緑の環境づくりを推進した。参加人数30,000人	A	都市整備課
6	フラワーフェスティバル開催費	市民の緑化意識の高揚を図ると共に市と市民が一体となり花と緑の環境づくりをする 参加人数10,000人 目標人数20,000人	市民の緑化意識の高揚を図ると共に市と市民が一体となり花と緑の環境づくりを推進した。参加人数10,000人	C	都市整備課

7	緑化部会支援費	市内の各部会を支援し花と緑の環境づくりを推進する。 緑化部会数201部会 目標部会数毎年10部会数の増	自治区毎の緑化部会設置を推進し市民による地域の緑化、花いっぱい運動を推進した。緑化部会数202部会	A	都市整備課
8	緑の精神回廊事業	防災と美観の公共空間を兼ね備えた緑あふれる歩道のネットワークとして、緑の精神回廊の整備を図る。 進捗率 33.9% 目標進捗率 37.3%	第2期工事を実施中 ・平成21年度末進捗率 4.3%	A	都市整備課
9	自然環境講座	多くの市民が自然環境への関心を高めながら知識を習得する自然環境学習の機会を創出する。	市内の有識者を講師に迎え、親子で自然に親しむ講座として実施した。 ①「水中生物を調べて水の汚れを調べよう」(原野谷川親水公園)	A	環境政策課
10	生涯学習アドバイザー活動	山野草を楽しむハイキング活動や学習を通して自然環境の重要性と必要性を考える。	学習講座等で自然体験学習を開催(地域ふるさと教室は21年度廃止)	A	社会教育課
11	野外活動講座	親子で楽しむ野外体験(釣りなど)を通して、参加者の環境美化への認識を深める。	親子で竹竿を作り、ならここの里キャンプ場付近の川で魚釣りを行い、環境美化への認識を深めた。参加者25組。	A	社会教育課
12	自然環境審議会	掛川市自然環境保全条例に基づき、保護すべき種や地域の指定等に関する事項を審議する。今年度は、専門家以外に市民、事業者からも委員を依頼し、広く自然環境と希少動植物の保護を推進する。	大型風力発電審議、南北道路審議、及び現場調査 審議会開催 5回	A	環境政策課
13	掛川市の環境(環境白書)	公害関係、自然環境、廃棄物等の状況をまとめ、関係各方面で様々な形で活用することで、市内の環境を理解し、環境意識の高揚を図るために発行する。	平成20年度における市の環境施策や大気、水質、廃棄物等の状況を白書としてまとめた。作成した冊子は市内中学校、高等学校、各図書館等に配布した。また、ホームページでも公開し、広く情報提供を図った。	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

(4) 基本目標 4 安全で良好な生活を守るまちづくり

Ⅳ－１	個別目標	生活排水の浄化推進（担当：下水整備課・商工労働観光課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	①汚水衛生処理率（市の人口にしめる、公共下水道・農業集落排水施設・合併処理浄化槽コミュニティプラントにより下水が処理されている人口の割合）を向上させる。		汚水衛生処理率＝48.4％	B	下水整備課
	平成16年度 46％	平成27年度 73％			
	②調査測定値（年間平均ＢＯＤ値）を減少させる。		環境基準を上回っている河川なし	A	環境政策課
	・逆川（長谷橋） 平成16年度…3.0mg／L→平成27年度…2.0mg／L ・菊川（菊川橋） 平成16年度…1.5mg／L→平成27年度…1.5mg／L				
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	環境実態調査事業(河川等水質調査)	掛川市の環境の監視のため、河川の水質及び農業用ため池の水質について定期的に定点観測を実施。27河川33地点年6回、6池2橋年3回水質調査	掛川市の環境の監視のため、河川の水質及び農業用ため池の水質について定期的に定点観測を実施。27河川33地点年6回、6池2橋年3回水質調査を実施した。	A	環境政策課
2	太田川水系の水をきれいにする会(負担金)	太田川水系における水質及び環境の保全を図り、太田川水系の水をきれいにすることを目的とする。水質実態調査、水生生物調査等の実施	太田川水系における水質及び環境の保全を図り、太田川水系の水をきれいにすることを目的とする。水質実態調査、水生生物調査等を実施した。	A	環境政策課
3	菊川水系水質汚濁対策連絡協議会	菊川水系の河川及び水路に係わる水質汚濁対策に関する関係機関相互の連絡調整を図ることを目的とする。	菊川水系の河川及び水路に係わる水質汚濁対策に関する関係機関相互の連絡調整会議を実施（年1回、事務局は国土交通省）。	A	環境政策課

4	浄化槽設置補助金事業	集合処理地域以外の地域で浄化槽事業を行う者に対して補助金を交付する。	補助対象基数を340基として100%実施	A	下水整備課
5	浄化槽雨水貯留施設転用費補助金事業	戸別浄化槽・公共下水道・農業集落排水処理施設への接続等に伴い不要となった浄化槽を雨水貯留施設に転用するものに対して補助金を交付する。	制度創設（平成13年）以降、120件の補助を実施	A	下水整備課
6	公共下水道事業	生涯学習都市宣言のまちとして生涯を通し、環境への優しさを学習し整備の遅れている人口集中地域の公共下水道施設を整備する事業	整備率：掛川処理区 19.6% 大東処理区 85.1% 大須賀処理区 46.5%	B	下水整備課
7	農業集落排水事業	農業用水の水質保全、農業用排水施設の機能維持又は、農村の生活環境の改善を図り、併せて公共水域の水質保全による、し尿、生活雑排水等の汚水汚泥を処理する施設を整備する事業	上内田地区管路整備工事はH21で終了し、本事業は完了（日坂、土方、海戸、上内田の4処理区）。 接続率：日坂＝88.6%、海戸＝100% 土方＝89.5%、上内田＝78.7%	A	下水整備課
8	市町村設置推進事業	集合処理地域以外の地域で生涯学習まちづくり土地条例の協定が締結された地域より市が個人の宅地内に浄化槽を整備していく事業	設置率：倉真＝52%、上垂木＝58% 中＝63%、東山口＝40% 原田＝35%	B	下水整備課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

IV-2	個別目標	安全な食の確保（担当：農林課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	安心安全な食に関する学習会を年1回以上開催する。		掛川いきいき食の会との共催による学習会等 年5回開催（水の学習会、野菜作り教室、料理 教室、視察研修2回）	A	環境政策課
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	掛川市食品衛生協会補助金	食品業者により構成されている団体で、食中毒予防・公衆衛生に努めるとともに、トレー回収事業などのリサイクル活動等の環境保全活動を実施。食品衛生講習会、食品業者健康診断（保菌検査）、食中毒防止の啓発活動の実施。	会員数956人、特別会員30人、賛助会員27人 平成21年度市内の食中毒発生件数なし	A	環境政策課
2	道の駅掛川地産地消推進協議会補助金	生産者や製造者に対し、安心・安全な食品の生産・製造について指導している「道の駅掛川地産地消推進協議会」に対して支援を行う。	販売作物作付け講習回（月1回） 類似施設視察研修会（年1回）	A	農林課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅳ－３	個別目標	不法投棄の対策（担当：環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	①かけがわ美化推進ボランティア登録件数を増加させる。		平成21年度登録件数 89件	A	環境政策課
	平成16年度 42件	平成27年度 80件			
	②不法投棄による廃棄物回収量を減少させる。		平成21年度回収実績 16,097kg	A	環境政策課
	平成16年度 93,320kg	平成27年度 5,000kg			
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	不法投棄対策事業	不法投棄防止看板及び防止ネットの配付。指定ごみ袋の配付。不法投棄物の回収。処理困難物の処理。	不法投棄防止看板及び防止ネットの配付。指定ごみ袋の配布。不法投棄物の回収。処理困難物の処理。	A	環境政策課
2	かけがわ美化推進ボランティア事業	企業や団体、個人などがボランティアとして、公共スペースのポイ捨てごみの回収や回収困難な不法投棄の情報提供を行う。	企業や団体、個人などがボランティアとして、公共スペースのポイ捨てごみの回収や回収困難な不法投棄の情報提供を行う。 H21実績 活動89団体	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

IV-4	個別目標	工場からの公害のない安全な暮らしの保全（担当：商工労働観光課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	工場事業所が原因の苦情の解決率を98%以上に維持する。		公害苦情件数 153件 ・ 解決率98% 内訳 (大気4、水質2、土壤汚染1、騒音11、振動1、 悪臭95、空き地管理35、その他4)	A	環境政策課
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	公害特定施設管理	ばい煙や汚水を排出する又は騒音や振動を発生させる工場等は、それぞれの法律や県条例で、一定規模以上のもの、あるいは業種により事前に届出が必要である。事業所から市経由で県に届出する。	特定施設届出件数 2,145件 施設数 12,875件	A	環境政策課
2	公害、苦情等調査委託	公害苦情発生時において、問題解明の際に必要な環境調査を行う。公害、苦情調査、アスベスト調査を実施する。	公害苦情発生時において、問題解明の際に必要な環境調査を行う。公害、苦情調査を実施した。	A	環境政策課
3	道路騒音、振動調査事業	騒音規制法第21条の2及び振動規制法第19条に基づき、市内主要幹線道路の沿線地域における騒音及び振動の実態把握をするため騒音振動の測定を行う。市内10箇所において機械による24時間連続自動測定を実施	騒音規制法第21条の2及び振動規制法第19条に基づき、市内主要幹線道路の沿線地域における騒音及び振動の実態把握をするため騒音振動の測定を行う。市内10箇所において機械による24時間連続自動測定を実施した。	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

IV-5	個別目標	快適な暮らしの保全（担当：環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	生活型苦情解決率を98%以上に維持する。		公害苦情件数 153件 ・ 解決率98% 内訳 （大気4、水質2、土壌汚染1、騒音11、振動1、悪臭95、空き地管理35、その他4）	A	環境政策課
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	アスベスト対策事業	公共施設アスベスト対策については、施設管理、解体、除去工事について指導を行う。民間施設アスベスト対策については、使用状況の現状把握、市民相談、飛散防止措置を推進する。	民間施設アスベスト対策、使用状況の現状把握、除去工事立入調査4件、市民相談0件	A	環境政策課
2	畜犬登録注射	狂犬病予防法に基づき飼い犬の登録と年1回の予防接種が所有者に義務付けられている。市では犬の登録と狂犬病注射済票の交付事務を行う。	狂犬病予防法に基づき飼い犬の登録と年1回の予防接種が所有者に義務付けられている。市では犬の登録と狂犬病注射済票の交付事務を行った。登録頭数8,941、注射頭数7,284、実施率81.5%	A	環境政策課
3	動物愛護法関連業務（犬・猫死体処理）	環境の保全及び動物の愛護のため、迷い犬及び猫の保護と公衆衛生のため公道上の動物の死骸処理を行う。	環境の保全及び動物の愛護のため、迷い犬及び猫の保護と公衆衛生のため公道上の動物の死骸処理を行った。死骸回収786件、保護回収91件、一時飼育38頭	A	環境政策課
4	掛川畜犬愛護会補助金	狂犬病予防業務に協力して狂犬病予防法の円滑な施行に寄与するとともに、畜犬の正しい飼育管理を啓蒙し動物愛護思想の向上を図る。	会員数5,107件、飼い方教室の開催15組参加、避妊去勢手術補助金交付89件、フン公害防止看板の設置162枚、飼い方指導（城西他）。	A	環境政策課

5	県動物保護協会負担金	県内の市町、獣医師会、動物愛護団体等と連携して、人と動物の共存する豊かな環境づくりを目的に活動する静岡県動物保護協会に対して負担金を交付する。	県内の市町、獣医師会、動物愛護団体等と連携して、人と動物の共存する豊かな環境づくりを目的に活動する静岡県動物保護協会に対して負担金を交付した。	A	環境政策課
6	害虫駆除防疫事業	衛生害虫の駆除のため殺虫剤を配付し、地域の環境衛生の向上に努める。災害時の地域の消毒のための薬剤を配付し防疫努める。	殺虫剤9,391袋を配布	A	環境政策課
7	富士見台霊園の管理	市民に終の棲家である墓所を提供し、安心して暮らせるようにする。また、墓参に來た方が快適に過ごせるよう公園の機能を充実、施設の適正な維持管理に努める。	緑化管理委託、霊園管理委託（園内清掃）	A	環境政策課
8	富士見台霊園の整備	9号墓域通路の舗装、手摺りの塗装、水汲み場の設置	園路舗装他	A	環境政策課
9	富士見台霊園の拡張整備	12号墓域拡張工事（墓域面積609㎡、70区画）	1 3号墓域拡張測量設計	A	環境政策課
10	市内墓地の管理	墓地埋葬法に基づく埋葬、改葬の手続きの実施。宗教法人等の管理する墓地の許可等届出事務の実施	改葬許可41件、経営許可3件、墓地廃止4件	A	環境政策課
11	東遠地区聖苑組合	火葬場建設、設置、管理及び運営に関する事務を菊川市と共同処理する。	死体火葬数1,004件、犬334件	A	環境政策課
12	掛川猫サポーター倶楽部補助金	地域猫の取り組みを中心に、人間と猫との共生により良好な生活環境の構築と猫の正しい使用による生活文化の向上を図る。	地域猫の取り組みを中心に、人間と猫との共生により良好な生活環境の構築と猫の正しい使用による生活文化の向上を図った。地域猫活動2地区、野良猫避妊去勢手術152件、出前講座4回	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

Ⅳ－6	個別目標	景観・歴史的環境の保全（担当：都市政策課・社会教育課・生涯学習まちづくり課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	①指定文化財を増やす。		指定文化財数 1 0 9 件	C	社会教育課
	平成16年度 105件 → 平成27年度 130件				
	②景観を保全する特別計画協定区域・地区計画区域を増やす。		地区計画実績（H21末）は13地区で変動無し （都市整備課） 特別計画協定区域は、現在17区域である （生涯学習まちづくり課）	C	生涯学習 まちづくり課 都市政策課
	・特別計画協定区域 ・地区計画区域	平成16年度 7カ所 → 平成27年度 15カ所 平成16年度 13カ所 → 平成27年度 16カ所			
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	良好な生活環境の確保に関する条例	平成18年4月1日施行。生活環境を保全するため、良好な生活環境の確保に関する条例のPRと併せ野焼き、悪臭、騒音などの苦情に対し、原因の調査と改善指導等を行う。	（再掲） 平成18年4月1日施行。条例のPRと併せ野焼き、悪臭、騒音などの苦情に対し、原因の調査と改善指導等を行った。環境保全委員研修会などの研修会で条例のPRに努めた。	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

(5) 基本目標 5 みんなで学び地域で取り組むまちづくり

V-1	個別目標	学校における環境教育の推進（担当：学校教育課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	環境資源ギャラリーなどの環境施設を利用した環境学習を全小学校が年1回以上開催する。		環境資源ギャラリー見学小学校数 17校 生物循環パビリオン見学小学校数 2校	B	学校教育課
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
	※該当事業なし				

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

V-2	個別目標	市民における環境教育の推進（担当：商工労働観光課・環境政策課・社会教育課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	環境に関する講座イベント等を年間5回以上開催する。		太陽エネルギー講座、ごみの分別についての勉強会、環境にやさしい地域社会づくりなどの学習会を開催した。	A	社会教育課
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	環境基本計画実践活動補助金	掛川市環境基本計画に基づいて、地球温暖化防止や自然環境保護等の環境保全活動を実践する市民の団体や地区での活動に対して補助を行い、市民の活動を推進・支援する。	地域や団体が行う、環境学習や雨水タンクの設置などの環境保全活動に対して12団体、913千円に対し補助金の交付を行うことで、地域での環境保全活動の支援を図った。	A	環境政策課

2	環境を考える市民の集いとかけがわ環境展	身近な環境に対する市民の意識を高め、環境に負荷が少ない生活を推進していくために、子どもから高齢者までのすべての市民が一緒になって学習発表、活動報告、講演会を行う環境学習として開催する。	平成22年3月6日（土）に開催した。表彰や小中学校の研究発表、企業の活動発表を行った、約700名の参加者があった。	A	環境政策課
3	清掃作業車両借り上げ料補助	自治会が下水路の清掃作業等を実施するにあたり、有料で運搬車両を借り上げた場合について補助金を交付し、地域の害虫駆除及び環境絵雨声の向上の促進を図る。交付団体予定地区数100地区	交付団体 62団体	A	環境政策課
4	掛川市消費者協会補助事業	消費者に対し消費に関する正確な知識の普及、及び家庭生活における、地球温暖化防止、環境保全、省資源・省エネ活動事業を推進する掛川市消費者協会の活動に支援を行う。	視察研修 マイバッグ持参率調査（4回） 大気中のNO ₂ 調査（66ヶ所 2回） 水生生物調査 くらしのニュース発行（4回） 掛川市消費生活展に出展 ほか	A	商工労働観光課
5	消費生活展事業	掛川市消費生活展において、家庭生活における、地球温暖化防止、環境保全、省資源・省エネ等を啓発する。	開催日 11月21日（土） 会 場 掛川市生涯学習センター 参加団体 26団体	A	商工労働観光課
6	掛川市民大学校	人づくり講義の中で環境についての講義	「身近な環境について考える」「環境にやさしい地域社会づくり」について講義を行った。	A	生涯学習 まちづくり課
7	生活学校	廃油利用固形石けん作り。美化活動。消費生活展の展示。	廃油石けん作りや美化活動を通じて、環境の保護・保全について意識を高めた。	A	社会教育課
8	青少年教室	掛川工業高等学校の生徒が中学生を対象に理科実験等を行い、環境について考えるきっかけづくりを行う。	手作りラジオや火災報知器等のものづくりを行う。	A	社会教育課
9	環境教育のための人材育成	市教育センターの指導技術研修の自然観察研修等を通して、教員の指導力の向上を図る。	研修名「子どものための『自然観察』」 1回開催 7名参加	A	学校教育課
10	環境教育事業の推進	市教育センターの指導技術研修の花壇研修等を通して、学校緑化環境の充実に努めることができるようにする。	研修名「花壇研修」 2回開催 72名参加	A	学校教育課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

V-3	個別目標	地域の環境学習の推進（担当：生涯学習まちづくり課・環境政策課）			
数値目標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	環境基本計画に関連する項目を含む特別計画協定区域件数を増やす。		特別計画協定区域は、現在17区域である。	A	生涯学習 まちづくり課
	平成16年度 15件	平成27年度 23件			
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	まちづくり計画策定事業	生涯学習まちづくり土地条例に基づき、河川美化や快適な住環境づくりを目指すまちづくり計画を策定する。	東山口地区では、清らかな水に囲まれた豊かな自然環境を守るため、水質浄化を推進するため『東山口地区特別計画協定(水質浄化)』を締結した。	A	生涯学習 まちづくり課
2	環境保全委員研修会等	地域で活動する環境保全委員、クリーン推進員の委嘱式・研修会を開催する。	環境保全委員、クリーン推進委員の研修会を実施 4月28日 合同研修会 7月 静岡油化工業ほか視察研修 11月10日 新エネルギーフォーラム	A	環境政策課
3	エコロジーライフ研究会（補助金）	自然と共生する農林水産業及び「食」と「暮らし」の実践を通して、安心安全な生活と環境保全を推進する新しいライフスタイル構築と豊かな地域社会づくりを目的として活動している団体に活動支援を行う。	講演会、見学会の開催 体験学習会の開催（農業体験、自然とのふれあい学習、生産物料理教室） 有機栽培技術の安定向上 生ごみの処理、利用法の検討 料理講習会の開催 バイオ資源の有効利用と里山の環境保全・安全健康加工食品の開発普及 有機生産物の流通体制の安定化	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

V-4	個別目標	事業所における環境学習の推進（担当：商工労働観光課・環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	従業員100人以上の事業所について、ISO14001又はエコアクション21の認証取得率を100%とする。		ISO14001取得事業所 59社	A	環境政策課
	平成17年度 76.4%	平成27年度 100%	エコアクション21取得事業所 15社		
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	(再掲) 市民力による環境ISO推進支援事業	I-3-1 再掲		A	環境政策課
2	(再掲) エコアクション21認証一斉取得支援	I-3-2 再掲		A	環境政策課
3	(再掲) ISO14001・EA21認証取得事業所連絡会	I-3-5 再掲		A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。

V-5	個別目標	環境団体の活動推進（担当：環境政策課）			
数 値 目 標	数値目標		現状の実績（21年度末現在）	評価	数値目標 担当課
	掛川市エコ・ネットワーキング参画環境団体数を増やす。		24団体	A	環境政策課
	平成16年度 22団体	平成27年度 30団体			
番号	事業名	目的	21年度実績	評価	課名
1	掛川エコ・ネットワーキング	市内の環境保全活動団体が、それぞれの活動計画の周知や共同での活動など調整を行い、それぞれの活動を有機的に結びつけ、より一層環境保全への取り組みが深まることを目的に運営する。	各環境団体の連絡調整の活用と「環境を考える市民の集い・環境展」の企画運営	A	環境政策課
2	環境かけがわの会（環境基本計画実践活動補助金）	掛川市の自然環境、清潔で安らぎのある生活環境、及び伝統ある歴史の保全に努め、いつまでも住みたい風土の保全と想像に寄与することを目的として活動している団体に対して活動支援を行う。	里山作業（8回）・アカウミガメの放流会及び海岸美化活動（8/31） 各種講演会、学習会、講座への参加等 小笠山ハイキング道の草刈り整備	A	環境政策課
3	農地・水・環境保全対策事業	地域の農業者、住民、団体などを対象に農業の多面的機能を活用し地域の活性化を図る活動の補助を行う。	実施事業なし	D	環境政策課
4	環境審議会	環境基本条例に基づく組織で、市民、環境団体、事業者、学識経験者の20人で構成し、環境の保全と創造に関する基本的事項を調査審議することを目的としている。（委員報酬、委員会運営費）	環境基本計画の進行管理を行うため、市の環境施策と予算決算について審議した。また、環境施策への提言をした。 ※審議会開催 2回	A	環境政策課
5	自然環境審議会	掛川市自然環境保全条例に基づき、保護すべき種や地域の指定等に関する事項を審議する。今年度は、専門家以外に市民、事業者からも委員を依頼し、広く自然環境と希少動植物の保護を推進する。	大型風力発電審議、南北道路審議、及び現場調査 ※審議会開催 5回	A	環境政策課

※評価 … A 計画どおり進んでいる。 B 計画より少し遅れている。 C 計画より遅れている。 D 計画見直しが必要。